

早稲田大学 政治経済学部 政治・経済 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	大問2問中，政治・憲法分野からの出題が2問。経済分野からの出題が2問。 適語補充や正誤選択問題のみであり，論述問題はない。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	国会と内閣	「衆議院の優越」や議院内閣制についての基礎的知識が問われている。国会・内閣に関する論点は、日本国憲法の条文をふまえて把握する必要がある。	標準
II	信教の自由 靖国神社問題	「首相の靖国神社参拝」に関する時事的知識や、日本国憲法の「信教の自由」に関する基礎知識を問う問題。	標準
III	市場の機能と限界 現代の企業	市場の機能や現代の企業、いずれも教科書・資料集・用語集レベルからの出題。問4(エ)のCSRとは「corporate social responsibility(企業の社会的責任)」の略。	やや難
IV	現代日本の労働問題と 社会保障制度	わが国の雇用情勢の変化や経済的格差に関する基礎的知識を問う問題。	標準

〔総合コメント〕

教科書・資料集・用語集の範囲内から難易度・内容ともにバランスよく出題されている(受験レベルを超え受験対策を講じにくい高度で専門的な問題はほとんどない)。
